

令和4年度兵庫自治会総会

令和4年度兵庫自治学会総会は、令和4年12月17日に兵庫県立大学神戸商科キャンパスにおいて、開催いたしました。

総会では、加藤恵正代表運営委員を議長に選出し、議決事項（第1号議案「令和3年度事業報告」、第2号議案「令和3年度収支決算」、第3号議案「第16期役員を選任」）については、原案どおり可決いただき、また、「役員を選任」等の報告事項を報告いたしました。

なお、長期間にわたり就任いただきました山下淳代表運営委員、加藤恵正代表運営委員につきましては、今総会を持って退任されるため、ご挨拶をいただきました。



令和4年度兵庫自治会研究発表大会

総会と同日、「ポストコロナ社会の多様な働き方について考える」をテーマとして兵庫自治学会研究発表大会を、会場とオンラインのハイブリット方式で開催しました。

午前は、日本総合研究所副理事長の山田久氏を講師に迎え、「ポストコロナ社会の働き方の変化について考える」と題して講演いただきました。

午後からは、4つの分科会に分かれて会員等による研究発表がありました。

●全体会（基調講演）



テーマ：「ポストコロナ社会の働き方の変化について考える」

講師：山田久（日本総合研究所副理事長）

内容：新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、経済活動のオンライン化が進み、テレワークが一般化するとともに、ネット経由で仕事を受注するギグワークが広がりました。

それは働き方の可能性を広げる半面、フリーランスの不安定さやエッセンシャルワーカーの低処遇など、新たな課題を浮き彫りにしました。その実態とこれからの働き方について、国内外のデータと実例を交えてお話いただきました。

講演録：兵庫自治学会ホームページおよび兵庫自治学第29号（本年3月末発行予定）に掲載

●分科会

「産業振興」、「農業振興」、「防災・減災」、「地域づくり」の4つの分科会に分かれ、18の個人・グループが日頃の研究成果を県立大学教室で対面およびオンラインにより発表を行い、会場参加者と議論を深めました。

分科会では、学識者がコーディネーター、行政幹部職員がアドバイザーを務め、研究活動を深めるためのアドバイスを行うとともに、テーマに沿った問題提起を行いました。

行政職員のほか、地域で活動をしている方、大学生などからも多くの発表があり、地域課題や行政政策への関心の高さと広がりを感じられました。

今回の発表と議論が各発表者・参加者の主体的な政策形成活動につながるものと期待されます。

コーディネーター・アドバイザー

○ 第1分科会 産業振興

コーディネーター：金崎健太郎(武庫川女子大学経営学部教授)

アドバイザー：宮口美範(兵庫県産業労働部次長)

○ 第2分科会 農業振興

コーディネーター：中塚雅也(神戸大学大学院農学研究科教授)

アドバイザー：守本真一(兵庫県農林水産部次長)

○ 第3分科会 防災・減災

コーディネーター：青田良介(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授)

アドバイザー：城下隆広(兵庫県危機管理部次長)

○ 第4分科会 地域づくり

コーディネーター：畑 正夫(兵庫県立大学地域創造機構教授)

アドバイザー：守本 豊(兵庫県新県政推進室次長(政策担当)兼企画部総合企画局長)



優秀発表者・特別賞受賞者のご紹介

令和4年度兵庫自治学会研究発表大会における優秀発表者と特別賞受賞者を以下のとおり決定しました。

優秀発表者には学会誌兵庫自治学へ論文を寄稿いただき、特に優秀な研究論文には「兵庫自治学会賞」を贈呈することとしています。

3月に表彰式を開催し、優秀発表者および兵庫自治学会賞受賞者には、賞状と研究奨励金（兵庫自治学会賞：5万円、優秀発表者：3万円）、特別賞受賞者には賞状と図書カードを授与することとしています。

優秀発表者

○第1分科会 産業振興

井上夏綺、香川大樹、清藤梨々香、白石真菜、高木麻依、田坂璃歩、富永珠里
(関西学院大学経済学部 上村ゼミ14期生)

テーマ：「兵庫県の産業の労働生産性とその向上施策のあり方」



受賞コメント

このたび、このような光栄な賞をいただき、ありがとうございます。

私たちは本発表大会を通して、兵庫県の労働生産性の現状や課題を知ることができました。具体的には、労働生産性の変化が6パターンあり、府県によって産業別の労働生産性の違いに変化があるため、府県別に測定することが現状や課題を見つけるために必要であると分かりました。

また、分析していく中で、それぞれの地域の異なる特徴を掴み、それに沿った政策をしていくことが重要であると学びました。今後、私たちは本発表から学んだことを活かして、日本経済をあらゆる視点で見えて考えていきたいと思っております。良い機会をいただいたことに感謝します。

○第2分科会 農業振興

横佐古優太

(兵庫県立大学大学院環境人間学研究科環境人間学専攻修士2年生)

テーマ:「獣害対策における集落柵の効果・維持に関する研究」



受賞コメント

優秀発表者に選ばれたこと、とても嬉しく思います。

今回、兵庫自治学会研究発表大会分科会に参加したことで、大きな学びを得ることができました。

発表の後、コーディネーター及びアドバイザーの方に貴重なコメントをいただき、新しい発見がありました。また、もっと良い研究にしようという意欲が湧きました。

他の方の発表を見る中で、テーマは違えど、社会課題を解決しようという発表者の気持ちが伝わってきて、とても刺激を受けました。

僕の研究テーマは農村における獣害対策であり、今後はこの研究を実践に活用できるよう頑張りたいと思います。ありがとうございました。

○第3分科会 防災・減災

前田菜緒、栗石千代乃、藤原志帆、細見佳乃子

(兵庫県立大学環境人間学部環境人間学科都市計画研究室(太田ゼミ))

テーマ:「防災・減災と人口減少下の都市的土地利用のバランスの実態解明と今後の展望 ～加古川市と高砂市を事例に～」



受賞コメント

この度は優秀発表者に選出していただき、誠にありがとうございます。

本研究は加古川流域における人口減少と災害の危険性に対して都市計画的対応を検討したもので、GISでの調査とヒアリング調査、現地調査の結果をまとめたものです。研究を行う中で、詳しい研究課題の設定や分析作業、ヒアリング調査などに難しさを感じた部分もありましたが、チーム4人で協力しながら研究内容をまとめることが出来ました。

本研究を進めるにあたって、多くの方々にご指導、ご協力をいただきました。ありがとうございました。本研究での経験を活かし、今後も努力を重ねていきます。

改めまして、今回このような賞をいただき、本当にありがとうございました。

○第4分科会 地域づくり

観光による地域ブランディング研究グループ(代表者両部舞)

(関西学院大学経済学部前田ゼミ)

テーマ:「観光による地域ブランディングー神戸市北区を事例としてー」



受賞コメント

この度は、優秀発表者に選んでいただき、誠に光栄に思います。はじめは、研究をなかなかうまく進めることが出来ず、もどかしい時期もございましたが、私達のゼミ教授である前田先生に優しく丁寧に指導していただいたおかげでこのような成果を残すことができ、とても嬉しく思っております。

そして、たくさん発表練習を聞いてくれた同じゼミの仲間や快く様々な行事に参加させてくださった研究先である神戸市北区八多町の皆さまのご協力があってこそこの賞だと思っております。

今後も私達全員で一生懸命努力し、より良い研究にしていく所存です。まだまだ至らない点がたくさんございますが、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

特別賞

○第3分科会 防災・減災

研究調査員 滝田幸一郎

((公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター研究部)

テーマ:「都道府県防災・危機管理部局の体制
及び関連部署・関係機関等との人事交流について」



受賞コメント

この度は特別賞に選出いただき誠にありがとうございます。発表への助言及びコメントを頂いたコーディネーターの青田良介教授、アドバイザーの城下隆広兵庫県危機管理部次長、このような発表の機会を与えていただいた兵庫自治学会の皆様には心から感謝申し上げます。自治体の危機管理・災害対応は多様化、複雑化している一方で職員は減少し、災害時に被災自治体職員だけでは対応が困難なことが多くなってきています。

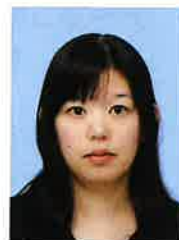
そのような状況の中でも危機管理事案や災害発生時に住民の安全を確保し、早期に元の生活に戻れるようにするために、自治体はどう準備しどう対応すればよいのかについて引き続き研究を進めていきたいと考えております。ありがとうございました。

○第4分科会 地域づくり

栗山こまよ・辻本桜子(愛知淑徳大学)

(宍粟市国際交流協会)

テーマ:「宍粟市における
「やさしい日本語」普及のための活動報告と今後の課題」



受賞コメント

この度は、特別賞という名誉な賞を賜り、誠にありがとうございます。発表の内容について、貴重なご助言をいただきましたコーディネーターの畑先生、及びアドバイザーの守本様、そして大会関係者の皆様へ心より御礼申し上げます。

「やさしい日本語」は、相手に伝わりやすいように文法や語彙を簡単にした日本語です。国籍に関係なく外国人と日本語を共通語として話せます。台風や大雪、コロナ禍で情報を届けること、「言葉でできる支援」をしたいと思いました。行政をはじめ多くの方々との協力により実行でき、心より感謝しております。

今後は更に「やさしい日本語」を広め、外国人が隣人から気軽に情報を得られるような地域を目指して邁進いたします。



令和4年度コラボレーション・プロジェクト

県・市町職員、NPO、企業、地域の様々な人々とのコラボレーションにより、会員が自主的に企画・開催するプロジェクトを兵庫自治学会令和4年度コラボレーション・プロジェクトとして下記のとおり実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策講演会

テーマ **新型コロナウイルスと共存する持続可能なポストコロナ社会の創造
～地方創生の観点から官民を挙げた取り組み～**

開催趣旨

新型コロナウイルス感染症の発生から2年5か月が経過しました。変異を繰り返す新型コロナウイルス感染症の正体・現状・今後の展望を正しく理解した上で、持続可能なポストコロナ社会を目指し、地方創生の観点から、官民がどのような取り組みを推進していくかについて討論し、コロナウイルスと共存して経済・社会活動を推進し、各関係機関が連携した地方創生を目指す方策についても提言します。

日 時：令和4年8月28日(日)13:00～16:00

会 場：太子町立文化会館 丸尾建築あすかホール・大ホール(揖保郡太子町鶴1310-1)

主 催：協働による地方創生都市の実現に関する研究会

共 催：兵庫大学・兵庫大学短期大学部、兵庫自治学会

後 援：兵庫県、兵庫県教育委員会、太子町、太子町教育委員会、西播磨市町長会

「新型コロナウイルスと共存する持続可能なポストコロナ社会の創造 ～地方創生の観点から官民を挙げた取り組み～」をテーマとして、令和4年8月28日(日)に、太子町立文化会館で新型コロナウイルス感染症対策講演会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症は、発生から2年5か月が経過しましたが、中々収束の兆しを見せません。講演会では変異を繰り返す新型コロナウイルス感染症の正体・現状・今後の展望を正しく理解した上で、持続可能なポストコロナ社会を目指し、地方創生の観点から、官民がどのような取り組みを推進していくかについて、お話しいただきました。

講師の岡部信彦氏(川崎市立川崎市健康安全研究所長、内閣官房・新型コロナウイルス感染症対策分科会構成員)からは、感染対策の基本は、感染源を絶つ・感染経路を絶つ・抵抗力を高めることであり、国民一人一人の注意深い行動、ワクチン接種、濃厚接触者への対応が求められるとの説明がありました。

そして、ウイルスの性状を正しく理解した上で地域の実情に合わせて国や自治体、医療機関、社会がそれぞれの対応を検討し実施することが必要であり、今後は、三密を避け、マスク・手指衛生、ソーシャルディスタンス、ワクチン、治療薬の開発が必要であるとともに、医療と公衆衛生のバランスがとれる法整備を図ることが求められていることなどを分かりやすくお話しいただきました。



オンラインセミナーのご案内

令和4年度兵庫自治学会セミナーを下記のとおりオンラインで開催しますので、会員の皆さんの参加をお待ちしています。

日時: 令和5年3月14日(火) 13:30~15:00

テーマ: 「現代日本の働き方の課題」

〈経歴〉

東京大学文学部行動文化学科社会学専攻卒業、
同大学院人文社会系研究科社会学博士課程、
ひょうご震災記念21世紀研究機構研究員、
甲南大学文学部講師、同大学文学部准教授、
兵庫県新ビジョン企画委員会委員

〈専門分野等〉

労働社会学、家族社会学、社会調査論

〈著書〉

「搾取される若者たち:バイク便ライダーは見た!」(集英社2006年)、
「働きすぎる若者たち:自分探しの果てに」(日本放送出版協会2007年)、
「キャリアラダーとは何か:アメリカにおける地域と企業の戦略転換」(共訳、勁草書房 2008年)、
「ハタチの原点:仕事、恋愛、家族のこれから」(筑摩書房2009年)、
「居場所の社会学:生きづらさを超えて」(日本経済新聞出版社2011年)、
「地方にこもる若者たち:都会と田舎の間に出現した新しい社会」(朝日新聞出版2013年)、
「『破格』の人:半歩出る働き方」(KADOKAWA 2014年)、
「『地方ならお金がなくても幸せでしょ』とか言うな!:日本を蝕む『おしつけ地方論』」(朝日新聞出版2018年) など

講師



甲南大学文学部社会学科教授
阿部真大氏



申込方法

以下URLの申込フォームからお申込みください。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_wfP4Spn6RveRN-jPFaXrlg



メールマガジン登録のご案内

兵庫自治学会ではメールマガジン(月1~2回)を活用し、タイムリーに各種事業の案内を行っています。まだご登録でない方は、ぜひご登録ください。

【登録方法】 兵庫自治学会ホームページより簡単に行えます!
トップページ(<http://hapsa.net/>)→メニュー中

メールマガジン登録・解除

をクリックすると簡単に手続きいただけます。



○定期購読の申込み・問い合わせ先

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6F
TEL:078-262-5713 FAX:078-262-5122 E-mail:gakujutsu@dri.ne.jp

